

港湾事業特別会計

問合せ： 地域振興部経済港湾課港湾振興係
Tel： 0164-42-1840

総括

留萌港は、旭川を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。
大型船舶による大量低コスト輸送に対応するために整備を進めてきた三泊ふ頭は、水深が12mで、3万トン級の大型船舶が入港可能となっています。平成16年4月に岸壁部分と一部背後用地が完成、供用を開始し、平成19年3月には泊地(安全に船舶が停泊できる水面)の浚渫(しゅんせつ:海底の土を掘ること)が完了したことで、本格的な供用開始となりました。また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受け入れが可能となり、防災拠点としても大きな役割を担うこととなります。
三泊ふ頭整備は、安全な港内航路、泊地を確保するために浚渫した土で埋め立てをしています。平成10年度から開始した工事も平成20年度には12m岸壁背後地の埋め立てが完了し、現在はふ頭用地の利活用や臨海部用地の売却等に向けた取り組みを進めています。

収入

- ①港湾使用料は、港湾施設(土地)使用料、船舶給水使用料、引船使用料などです。
- ②繰入金は、収支不足を補てんするために一般会計が負担するものです。
- ③市債は、資本費平準化債となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 A	構成比	予算額 A	構成比	(A-B)C	(C/B)
① 港湾使用料	58,353	31.3	67,176	33.0	△ 8,823	△ 13.1
② 繰入金	79,172	42.5	88,237	43.4	△ 9,065	△ 10.3
③ 市債	48,800	26.2	48,000	23.6	800	1.7
合計	186,325	100.0	203,413	100.0	△ 17,088	△ 8.4

支出

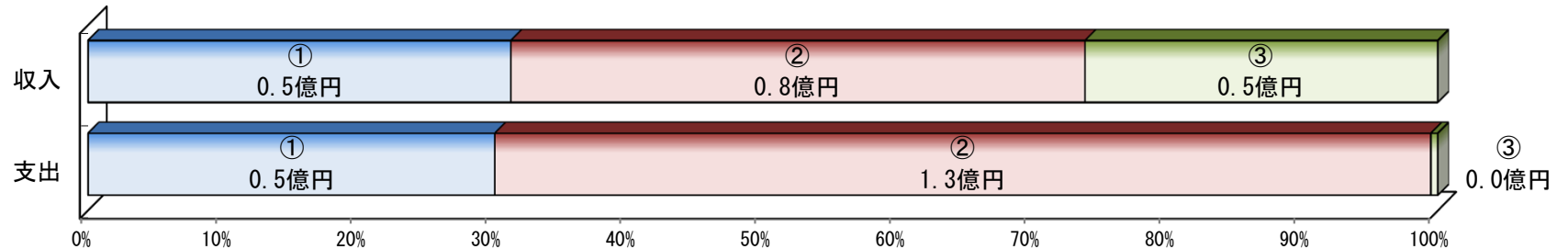
- ①港湾施設(管理)費は、出入港する船を補助する引船の運航委託や管理などの経費です。
- ②公債費は、これまで実施してきた港湾整備の財源として借り入れた市債(借金)の返済で、歳出全体の約7割を占めています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度		平成29年度		比較	
	予算額 A	構成比	予算額 A	構成比	(A-B)C	(C/B)
① 港湾施設(管理)費	55,972	30.1	71,223	35.0	△ 15,251	△ 21.4
② 公債費	129,353	69.4	131,190	64.5	△ 1,837	△ 1.4
③ その他	1,000	0.5	1,000	0.5	0	0.0
合計	186,325	100.0	203,413	100.0	△ 17,088	△ 8.4

構成比

予算総額
1.8億円
(前年比 △0.2億円)



※各項目で端数処理しているため、合計と合わないことがあります。